

白洲正子の旧邸武相荘で「能」の楽しみを覚える講座
お能への誘いの会 第16回

朝長

対談・謡の実演・小鼓の演奏体験

〈講師〉



能楽師 シテ方喜多流
友枝雄人氏



能楽師 小鼓方幸流
成田達志氏

源朝長は義朝の次男。

平治の乱で敗れ、わずか十六歳でこの世を去ります。

世阿弥の息子元雅は、戦のさなか重傷をおった少年朝長の美濃の青墓での死に取材して「朝長」という曲を作能しました。

頼政、実盛、朝長を総じて三修羅と呼び、武将の演目の中の大曲として扱う事が多いですが、これは中世以降の江戸期に呼ぶようになったのかもしれない。

武将の演目というより、彼は本曲を通して死の辛さ、深刻さの本質を訴えています。

特に、朝長の死に立ち会わざるを得なかった青墓の宿の女主人の心の痛手は、元雅の哀しく美しい言葉の綾織により聞く者に静かに、しかし深く沁み渡ります。中世にすでに現代の我々の荒んだ死の現実を予期しているかの如き本曲。

能楽は鎮魂の芸能と言われておりますが、人の死の凄惨さと真正面から向き合ったこの曲の言葉を読み継ぎながら、元雅の思いに近づきたいと思えます。

日程 2024年8月10日(土) 15:30～17:00 / 開場 15:00

会場

旧白洲邸 武相荘 / 定員40名 全席自由

参加費

※下記いずれも武相荘ミュージアム2割引特典付!

(A) 講座 3,800円

(B) 講座 + 観劇チケット付

舞台本番である8/31五蘊会 友枝雄人「朝長」のチケットを1割引にてお求めいただけます。詳細はお申込先をご確認ください。

お申し込み

武相荘公式ウェブサイト <https://buiso.com> より

講座終了後
参加者限定ディナーも開催!
(※別途料金/要事前お申込)